

差別のない明るい社会を！ 人権・同和問題講演会を開催



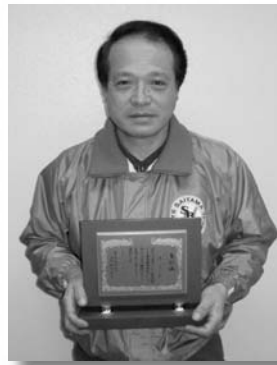
町では、あらゆる人権問題を解決するため、また、差別のない明るい社会をつくるため、毎年、隣保館で「人権・同和問題講演会」を開催しています。

今年は、2月27日に県の人権・同和問題啓発講師を長年務められた納見彦壽先生を講師に招き、「人権問題と大人の責任」をテーマに「人権、この命を輝かすもの」という演題で講演いただきました。

老子などの古典から現代の詩までの幅広い事例により、「大人の責任」や「子育ては人権育て」という内容について講演いただき、身近な人権について考える機会になりました。

当日は、町議会議員などの公職者をはじめ、約140人の方々が参加し、熱心に聴きっていました。

神田孝夫さん 埼玉県野球連盟功労賞受賞！



3月1日に、さいたま市の見沼グリーンセンターで「埼玉県野球連盟表彰式」が開催され、前寄居町野球連盟審判部長の神田孝夫さん（上平・下小路）が功労賞を受賞されました。

神田さんは、昭和45年に勤務先の寄居精工株式会社野球部に入部し、昭和48年から昭和52年までチームの監督や代表を務められました。その後、昭和61年から8年間にわたり、折原イーグルススポーツ少年団の指導者や代表を務められ、子どもたちの健全育成に大きく貢献されました。

平成6年からは、町野球連盟の理事として連盟の運営に尽力され、平成12年からは審判部長として正確なジャッジで若手審判員に範を示すなど、後進の指導にも積極的に取り組まれました。

神田さんのこうした30年余にわたる地域の軟式野球発展のための取り組みが、今回の受賞につながりました。

神田さんは、「好きなことをやってきてあっという間に過ぎたという感じです。これからも好きな野球を楽しみ、町内からプロ野球選手が誕生することを期待しています」と話してくれました。

黒澤保雄さん 埼玉県体育賞功労賞受賞！



3月14日に、さいたま共済会館で「平成20年度埼玉県体育賞授与式」が開催され、寄居町体育協会副会長の黒澤保雄さん（常木）が功労賞を受賞されました。

黒澤さんは昭和49年から平成9年まで、町卓球連盟の役員として卓球愛好者の指導にあたり、昭和56年からは、町体育指導委員として町のスポーツ振興に寄与されました。

また、平成16年の「彩の国まごころ国体」では、寄居町が主会場となったオリエンテーリング競技の審判長として、大会を成功に導きました。さらに、平成19年からは、町が推進するカローリング競技の普及に取り組んでいます。

今回の受賞は、黒澤さんの長年の熱心なスポーツ指導や、県体育指導委員協議会理事、大里郡体育協会理事等の要職を務め、地域のスポーツ振興の発展向上に大きく貢献されたことが認められたことによります。

黒澤さんは、「素晴らしい賞を受賞できて光栄です。現在取り組んでいるカローリングがさらに普及して、町民に親しまれる競技になるようがんばります」と話してくれました。

村越兼人さん、トシ子さん 日本農業賞特別賞受賞！



3月7日に、渋谷区のNHKホールで「第38回日本農業賞表彰式」が開催され、村越兼人さん、トシ子さん夫婦（用土12）が個別経営の部で特別賞を受賞されました。

日本農業賞は、農業経営に意欲的に取り組み、優れた功績をあげた農家や団体を表彰するものです。

村越さんは平成6年に、全国で初めてヤブランの大規模栽培を始め、現在では生産量全国一位、国内流通の5割のシェアを誇り、有望な品種を他の生産者に提供するなど、ヤブランの生産普及に積極的に取り組んでいます。

ヤブランは、以前は地域の里山にはどこにでもあったそうですが、村越さんが園芸品種として全国に広めました。

「長年の努力が評価されたことをうれしく思います。これからも研究を重ね、高品質なヤブランを生産していきたいです」と話してくれました。

用土地内に 信号機が設置されました！



用土地内の県道小前田児玉線と町道1568号線との交差点（大場ヶ谷戸）に定周期式信号機が、県道小前田児玉線と町道104号線・町道1000号線との交差点（大門北）に押ボタン式信号機が設置され、2月25日に、安全を祈念して点灯式が行われました。

この2カ所の交差点は通行量が多く、小学生の通学路にもなっていて、信号機の設置が長年、望まれていました。

点灯式は、地元の皆さんと用土小学校、寄居中学校、寄居警察署の関係者が参加して行われました。

用土小学校の児童がスイッチを入れて信号機が点灯すると、参加した皆さんが横断歩道を渡る「渡り初め」を行い、交通事故の防止に期待を寄せました。

まゆで コサージュ作りに挑戦！



2月18日と24日に用土小学校の児童の皆さんが、中島敬子さん（用土8）を講師に迎え、まゆを使ってカタクリや寒水仙の花の形をしたコサージュ作りに挑戦しました。中島さんは最後の一人が完成するまで、丁寧に指導をされていました。こうして作られたカタクリのコサージュは、卒業式で卒業生全員の胸に飾られました。

参加者は、「まゆでコサージュを作るのは、はじめてなので難しく感じましたが、まゆからこんなにきれいな花ができるなんてビックリです」と感想を話してくれました。